

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

子どもに関わる事に興味があり、オープンキャンパスで「学科の先輩にと」のような事をすか教えてもらい、とても楽しそうで「自分のしたいことが出来そうだったから。」

受験勉強の進め方【1学期】

1学期は初めから自粛で「学校にいけず」何を勉強すれば「いいのかわからず」困っていたけれど、「学校の課題や、単語など」をひたすらに覚えていました。そして家にいると夕焼けしてしまうので「学校に行く時と同じリズムで」朝起きて、お昼寝を決めて「時間をほかに」おまけにしていた。学校が始まる前から「定期テストの勉強など」をしていました。

受験勉強の進め方【夏休み】

夏休みは「行事の準備もあり」上に「期間が短」かったため、「勉強時間が」思うように確保できませんでした。とにかく「基礎中心に英語は文法と単語を」やっていた。塾の「夏期講習で」長文を解いた経験もしていました。古文は単語がまだ「固まらず」文を読み解くのも「難しかった」ので、「ひたすら」解いて、「わからない文法や単語が」また「復習」で覚えるようにしていました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

公募の1か月ほど「前から過去問を解きた」して、「あまり点数はとれなかった」ので「英語はひたすら文法書と単語を」勉強して「2日に1度ほど」長文を解いていました。また、「同女の対策講座が」開かれていたので、それに参加し、「傾向をつかんで」解き方などを「学びました」。社会は「世界史が一番苦手だった」ので、「教科書を何度も」読んで「マーカ」をひいて覚えるようにしていました。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

受験期はとにかく「夜ふかしはしないこと」を気を付けていました。毎日「同じくらい」の時間に「寝て起きる」リズムを崩さず「勉強すること」につながると感じます。あと「ケタイ」にあまり「触れない環境で」勉強すること。模試で「結果が良くても」また「あまり考えすぎないように」していました。もちろん「伸び悩むこと」もありましたが「一緒にがんばる」といふ友達などと「話を共有する」ようにしていました。

受験生のみなさんへ

本当に不安でしんどいと思います。私は「公募で」落ちた「もう無理かもなあ」と何度も思いましたが「本当に」行きたかった「最後まで」粘り、必死に「取り組みました」。試験が始まる直前まで「あきらめないで」ほしいです。直前に「みこ」が「2」も「ありました」。自分のモチベーションを「上げ」て「休憩」も「つづ」ぐ「がんばる」てく「ださい」!!!!

